

国語科における指導の重点（身に付けさせたい力）※学習指導要領に照らし合わせて

(ア) 知識及び技能	(イ) 思考力、判断力、表現力等
1 漢字や仮名を文章の中で正しく使うこと。 2 主語と述語、文と文との接続などについて理解し、正しく書き表すこと。	自分の考えが伝わるように、書き表し方を工夫すること。

	児童・生徒の学力の状況（課題）	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証（2月）
第1学年	(ア) 1 長音、拗音、促音、撥音などを正しく表記することが課題である。 (ア) 2 助詞「は」「へ」「を」を文の中で正しく使うことに課題がある。 (イ) 自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることに、課題がある。	(ア) 1 文を書き始める前に、「おうさま」「おもちゃ」「ヨット」「ランプ」など、使い方を例示する。 (ア) 2 文を書き始める前に、「わたしは」「学校へ」「おとうとを」など、使い方を例示する。 (イ) 自分が経験した出来事などの事実の順序を整理し、そこに自分の思いや考えを付け加えるようにする。	・毎単元 ・毎単元 ・毎単元、特に「書くこと」の単元で重点的に指導。	
第2学年	(ア) 1 既習の漢字を文章の中で正しく書くことに課題がある。 (ア) 2 助詞「は」「へ」「を」を文の中で正しく使うことに課題がある。 (イ) 自分の思いや考えが明確になるように、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることに、課題がある。	(ア) 1 1年生までに習った漢字を教室に掲示し、ノートや作文の中で、日常的に使えるようにする。 (ア) 2 文を書き始める前に、「わたしは」「学校へ」「おとうとを」など、使い方を例示する。 (イ) 自分が経験した出来事などの事実の順序を整理し、そこに自分の思いや考えを付け加えるようにする。	・毎単元→常時掲示 ・毎単元 ・毎単元、特に「書くこと」の単元で重点的に指導	
第3学年	(ア) 1 既習の漢字を文章の中で正しく書くことに課題がある。 (ア) 2 主語、述語を正しく使い文章を書くことに課題がある。 (イ) 自分の考えとその理由や事例との関係を考えながら書き表し方を工夫することに課題がある。	(ア) 1 2年生までに習った漢字を教室に掲示し、ノートや作文の中で、日常的に使えるようにする。 (ア) 2 文章を書く前に例文を提示し、主語・述語の関係を把握させてから書かせる。 (イ) 「自分の考えは、〇〇です。」「それは～だからです」「例えば□□があります」など、文型を示し、書かせる。	・毎単元→常時掲示 ・12月、1月、2月 ・毎単元、特に「書くこと」の単元で重点的に指導。	

第4学年	<p>(ア) 1 既習の漢字を文章の中で正しく書くことに課題がある。</p> <p>(ア) 2 主語と述語の関係がねじれてしまう。</p> <p>(イ) 自分の考えとその理由や事例との関係を考えながら書き表し方を工夫することに課題がある。</p>	<p>(ア) 1 3年生までに習った漢字を教室に掲示し、ノートや作文の中で、日常的に使えるようにする。</p> <p>(ア) 2 一文を短くし、主語と述語を意識して文章を書くようにさせる。</p> <p>(イ) 「自分の考えは、〇〇です。」「それは～だからです」「例えば□□があります」など、文型を示し、書かせる。</p>	<p>・毎単元→常時掲示</p> <p>・毎月</p> <p>・毎単元、特に「書くこと」の単元で重点的に指導。</p>	
第5学年	<p>(ア) 1 既習の漢字を文章の中で正しく書くことに課題がある。</p> <p>(ア) 2 原因と結果など情報と情報の関係について理解し、書き表すことに課題がある。</p> <p>(イ) 筋道の通った文となるように、文章全体の構成や展開を考えることに課題がある。</p>	<p>(ア) 1 教科書巻末のこれまでに習った漢字のページにインデックスをつけ、日常的に既習の漢字を使おうとする意識を高める。</p> <p>(ア) 2 説明的文章の読みや文章を書くための構成を考えるとときに「主張」「理由」「事例」などの用語を使い、情報の意味やつながりを考えさせる。</p> <p>(イ) 説明的文章の構成や展開を読み取り、それをもとにして、書くようにする。</p>	<p>・毎週</p> <p>・毎単元ごと</p> <p>・毎単元、特に「書くこと」の単元で重点的に指導。</p>	
第6学年	<p>(ア) 1 既習の漢字を文章の中で正しく書くことに課題がある。</p> <p>(ア) 2 原因と結果など情報と情報の関係について理解し、書き表すことに課題がある。</p> <p>(イ) 筋道の通った文となるように、文章全体の構成や展開を考えることに課題がある。</p>	<p>(ア) 1 教科書巻末のこれまでに習った漢字のページにインデックスをつけ、日常的に既習の漢字を使おうとする意識を高める。</p> <p>(ア) 2 説明的文章の読みや文章を書くための構成を考えるとときに「主張」「理由」「事例」などの用語を使い、情報の意味やつながりを考えさせる。</p> <p>(イ) 説明的文章の構成や展開を読み取り、それをもとにして、書くようにする。</p>	<p>・毎週</p> <p>・毎単元ごと</p> <p>・毎単元、特に「書くこと」の単元で重点的に指導。</p>	

■「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた一人一台端末等 ICT の効果的な活用について

- 1年生 学習アプリケーションで発表する内容を画像で記録し、学級全体で共有し伝え合う。
- 2年生 学習アプリケーションを活用し、読み仮名のついた文を使って、読み取りを行う。その際に、線を引いた場所などを、グループで見合い、自分の考えを伝える際の手立てとする。
- 3年生 文章の組み立てメモを学習アプリケーションを使って作成する。友達の作った文章メモをタブレット端末上で共有して、意見を伝え合う。
- 4年生 学習アプリケーションを使って、要約する文章や意見文などの推

■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について

- 1年生 授業の始めにめあてをもたせ、学習計画を確認する。
- 2年生 単元を見通した学習課題を設定し、学習計画を立ててから活動に入っている。
- 3年生 単元の始めに学習の流れを確認し、単元の終わりには振り返りを行う。
- 4年生 単元の始めに教科書を見て学習計画を確認し、学習の流れを把握させる。
- 5年生 単元の導入で付けたい力や高めたい力を児童と確認するとともに、学習計画を作成して単元の流れやゴールを明確にする。

<p> 5年生 意見を伝える。友達の文章をタブレット端末上で共有し、自分の作品と比べたり、意見を伝えたりする。 意見文の構想メモを、自分が選んだ思考ツールを使って作成する。タブレット端末上の思考ツールや構想メモを共有し、感想や意見を伝え合うことで、自分の考えを広げる。 6年生 作文の下書き等を学習アプリケーションで作成・提出させることで、添削と修正をスムーズに行う。書いた文章をタブレット端末上で共有して読み合い、感想や意見を伝え合う。 </p>	<p> 6年生 学習計画を作成する段階で、児童に学習の見通しをもたせる。学習後の振り返りで、自分の変化や成長について気付かせる。 </p>
--	---

社会科における指導の重点（身に付けさせたい力）※学習指導要領に照らし合わせて

(ア) 知識及び技能	(イ) 思考力、判断力、表現力等
様々な資料を適切に読み取り、調べたことをまとめること。	資料が伝える事象を、社会的事象の見方・考え方を働かせて捉え、表現すること。

	児童・生徒の学力の状況（課題）	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証（2月）
第3学年	(ア) 調査活動や調べ活動の際、学習問題の解決に結び付かない情報までも収集してしまうことに課題がある。 (イ) 調べたことを基に、自分の考えをまとめることに課題がある。	(ア) 事前に、調べる視点を明確にし、視点に沿って活動を進めているかを確認する時間をとる。 (イ) 学習問題に対する自分の考えを書く時間や説明する時間を単元末に設定する。	・毎単元 ・毎単元	
第4学年	(ア) 資料の内容を読み取り、情報を整理することに課題がある。 (イ) 調べたことを基に、自分の考えをまとめることに課題がある。	(ア) 事前に読み取らせる資料を明確にし、友達と共有する時間をとる。 (イ) 学習問題に対する自分の考えを書く時間や説明する時間を単元末に設定する。	・毎単元 ・毎単元	
第5学年	(ア) 課題を解決するために調べる際、必要な情報を選択することに課題がある。 (イ) 学習問題に対して、自分の考えをまとめ、表現することに課題がある。	(ア) 知りたいことを明記し、分かったことが知りたいことに対応しているか確認させる。出典を必ず書かせる。 (イ) 常に学習問題を掲示して意識させるとともに、考えを書かせる時には、キーワードや型を示し、書くポイントをしぼる。	・毎単元 ・毎単元	
第6学年	(ア) 調べたことをメモしたり、整理したりすることに課題がある。 (イ) 学習問題に対して、自分の考えをまとめ、表現することに課題がある。	(ア) 調べる時間を確保するとともに、思考ツールを用いて情報を整理する方法について指導する。 (イ) 常に学習問題を掲示して意識させるとともに、考えを書かせる時には、キーワードや型を示し、書くポイントをしぼる。	・毎単元 ・毎単元	

■「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた一人一台端末等 ICT の効果的な活用について

- 3年生 問題を解決するために調べたことを学習アプリケーションを使って分類したりまとめたりして、伝え合う。
- 4年生 問題解決のために資料を収集し、それらを学習アプリケーション上でまとめる。思考ツールなどを使って調べたことを分類したり、まとめたりして自分の考えを友達と共有する。
- 5、6年生 問題解決のために集めた複数の資料(教科書、資料集、Web ページ等)を学習アプリケーション上で整理・分類し、分かったことや考えたことを伝え合う。

■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について

- 3年生 調べていることを明確にし、見通しをもって学習に取り組めるようにする。
- 4年生 単元の始めに学習の目指すところを明確に示し、見通しをもって学習に取り組めるようにする。
- 5年生 何のために調べているのかを明確にするとともに、学習問題に対する一人一人の考えを伝え合う時間を大切にする。
- 6年生 毎時間のめあてを明確にして情報を集めたり分析したりするとともに、意見交換を通して、お互いに考えが広がったことを実感させる。学習問題のまとめで、自分の学びを振り返り、自分の成長に気付かせる。

算数科における指導の重点（身に付けさせたい力）※学習指導要領に照らし合わせて

(7) 知識及び技能

(イ) 思考力、判断力、表現力等

数の構成や計算の意味を理解し、正しく計算すること。

筋道を立てて考察し、意味を考えて立式すること。

	児童・生徒の学力の状況（課題）	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証（2月）
第1学年	(ア) 繰り上がりのあるたし算や繰り下がりのあるひき算の計算に課題がある。 (イ) 問題文を読み、意味を考えて立式することに課題がある。	(ア) 計算ブロックなどの具体物を活用して、10のまとまりを意識する。 (イ) 文章題での立式の意味を理解できるよう、どんな場面か話し合ったり、ノートに図をかいたりする。	・11月 12月 ・毎単元	
第2学年	(ア) 時計の読み方に課題がある。特に「時間」を正確に読み取る力に課題がある。 (イ) 文章題において、自分で読み解き、立式する力に課題がある。	(ア) 東京ベーシック・ドリルを活用して、定期的に復習を行う。 (イ) 文章題の指導の際に「あわせて」や「ちがいは」などの、立式の根拠になる言葉に注目させ、文に線を引かせてから立式させる。	・11月 12月 ・毎単元	
第3学年	(ア) 4位数の繰り上がり・繰り下がりのある足し算や引き算、2位数までのかけ算やわり算の定着に課題がある。 (イ) 文章問題において、問われていることは何かを読み取ることに課題がある。	(ア) 毎週火曜日の朝学習で計算の復習を継続的に行う。また、授業でマスをそろえて書いているか確認する。 (イ) 問題場面を整理してノートに書く活動やグループなどで話し合う活動を取り入れる。	・毎単元 ・毎月	
第4学年	(ア) わり算の筆算やかけ算の筆算の定着に課題がある。 (イ) 文章問題において、問われていることは何かを読み取り、立式につなげることに課題がある。	(ア) 毎週火曜日の朝学習と、算数の授業の最初3分間で計算問題の復習を継続的に行う。 (イ) 問題場面をテープ図や線分図、表などに整理してノートに書く活動や、グループなどで説明し合う活動を取り入れる。	・通年 ・毎単元	
第5学年	(ア) 小数の乗除において、小数点の処理が正しく行えなかったり、授業で学習してから時間が経つと、計算の仕方を忘れてしまったりする。 (イ) 文章問題で、正しく場面を把握して立式することに課題がある。	(ア) 朝学習や隙間時間を利用して、復習プリントに取り組む。 (イ) 問われていることを図や数直線で表し、明確にさせる。自分の言葉で説明する機会をもつ。	・通年 ・毎単元	

第6学年	(ア) 四則の混合した計算や、小数や分数のかけ算わり算などを正確に計算することに課題がある。	(ア) 問題に取り組んだ後、答えを出すまでの過程を見直しさせ、どこをどのように間違えたのかを把握し、直す練習を繰り返す。	・毎単元	
	(イ) 文章問題で、正しく場面を把握して立式することに課題がある。	(イ) 問われていることを図や数直線に表し、明確にさせる。自分の言葉で説明する機会を多くもつ。	・毎単元	

<p>■「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた一人一台端末等 ICT の効果的な活用について</p> <p>1、2年生 デジタル教科書や学習アプリケーションを使って、具体物の操作や数のまとまりの操作を行い、自分の考えをまとめ、全体で共有し、意見交換を行う。</p> <p>3、4年生 デジタル教科書や学習アプリケーションを使って、図形の操作して形をとらえることや、小数や分数のいろいろな見方を考える。自分の考えを児童間で共有し、意見交換を行う。</p> <p>5、6年生 デジタル教科書を使って、図形を切ったり動かしたりしながら、面積や体積を求める方法を考える。問題解決の過程を学習アプリケーションで共有し、自分の考えを友達に説明する。</p>	<p>■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について</p> <p>1年生 めあてをもって学習に向かわせ、学習の終わりには分かったことを振り返らせる。</p> <p>2年生 めあてをもって学習に向かわせ、学習の終わりには分かったことや、難しかったことを振り返らせ、その後の指導に生かす。</p> <p>3年生 毎時間、めあてに対しての振り返りをする時間を設ける。</p> <p>4年生 毎時間、学習の見通しをもつ時間を設ける。また学習の最後には学習のふり返りをノートに書かせる。</p> <p>5年生 新しい単元に入る前に、レディネステストで既習事項を想起させ、新しい学習の見通しをもたせる。また毎授業の振り返りでは、授業の理解度とその理由を書かせ、自己の学びを確かめさせる。</p> <p>6年生 新しい単元に入る前に、レディネステストで既習事項を想起させ、新しい学習の見通しをもたせる。また毎授業の振り返りでは、授業の理解度とその理由を書かせ、自己の学びを確かめさせる。</p>
---	--

理科

理科における指導の重点（身に付けさせたい力）※学習指導要領に照らし合わせて

(ア) 知識及び技能	(イ) 思考力、判断力、表現力等
観察や実験などに関する基本的な技能を身に付けること。	自然事象を理科の見方・考え方を働かせてとらえ、考えたことを表現すること。

	児童・生徒の学力の状況（課題）	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証（2月）
第3学年	(ア) 実験や観察のための器具を正しく扱うことに課題がある。 (イ) 自分の予想や結果を表現することに課題がある。	(ア) 観察や実験などの活動に入る前に、器具をよく見て特徴を理解させたり、危険な使い方をしないように重ねて指導したりする。 (イ) 毎回の実験で、予想、実験方法、結果、まとめの流れをつくる。	・毎月 ・毎単元	
第4学年	(ア) 実験結果をまとめたり、そこから考えられることを導き出したりすることに課題がある。 (イ) 物事の原因について、仮説を立てる力に課題がある。	(ア) 実験内容を確実に理解させてから実験に取り組ませる。また、結果のまとめ方や考察をパターン化し、取り組みの見通しをもたせる。 (イ) 日常生活を振り返らせ、同じような経験から推測したことを具体的にまとめさせる。	・毎単元 ・毎単元	
第5学年	(ア) 観察や実験の結果の記録の仕方に課題がある。 (イ) 観察・実験の結果を整理し、考察することに課題がある。	(ア) 観察の視点を板書したり、記録用にワークシートを活用したりする。 (イ) 考察は、「(結果)から、～と言える」という型を示し、複数の結果や、児童がもっている知識を関連付けて書かせる。	・毎単元 ・毎単元	
第6学年	(ア) 予想を確かめるための観察や実験の方法について考える力に課題がある。 (イ) 観察・実験の結果を整理し、考察したことを文章で表現することに課題がある。	(ア) 学級で予想を共有し、どのような視点で考えればよいか理解させる。 (イ) 実験データ等を表に整理する等、結果のまとめ方を工夫する。	・毎単元 ・毎単元	

■「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に向けた一人一台端末等 ICT の効果的な活用について

- 3年生 観察や実験したことを学習アプリケーションに写真や動画にまとめて記録する。記録したことをタブレット端末で共有し意見を伝え合う。
- 4年生 観察や実験を動画や写真として記録することで、結果を正確にまとめられるようにする。記録をタブレット端末で共有し、観察や実験についての考察の話し合いに生かす。
- 5年生 観察や実験の結果を、目的に合わせて記録用紙をデジタル化する等、記録方法を工夫する。実験の様子を動画で撮影して共有し、考察の話し合いに活かす。
- 6年生 タブレット端末を顕微鏡につなげて、撮影した静止画や動画、調べたことの成果を学習アプリケーションで共有して感想や考えを伝え合ったりする。

■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について

- 3年生 観察や実験の前に、予想を立て学びの見通しをもたせる。
- 4年生 観察や実験の前に、予想や仮説を立て学びの見通しをもたせる。
- 5年生 体験や学んだことから学習の見通しをもち、自ら考えた実験方法を検証し、次時につなげていく。
- 6年生 体験や既習事項から学習の計画を立て、学習の見通しをもたせる。自ら仮説を立て、実験や観察の方法を考えることを大切に、主体的に推論しようとする意欲をもたせる。